



みのかも文化の森・市民ミュージアムは、開館以前から現在に至るまで、地域に根差したミュージアムという基本的な考え方のもと、自然史、考古、歴史、民俗、美術工芸、文化などの広範囲な分野の資料や標本、作品、そしてそれに関する情報を収集し保存しています。地域とは、美濃加茂市及び市域の資料や事柄をあらわすのに必要な周辺圏域を指します。

収集の基本方針は

- ① 地域的な特徴・特性をあらわし、価値があると認められるもの
- ② 学術的に価値があると認められるもの
- ③ 現代の社会に発信・提起するミュージアムとして収集する必要があると認められるものとしています。

なお、その上で、各分野における収集品の特徴と収集にあたっての留意点は次のとおりです。

○自然史部門

- ・ 蜂屋層群中村累層に関する標本類
- ・ 加茂地域の生態を特徴づける動植物標本類
- ・ 文化の森敷地内などにある里山に関する動植物標本類

○考古部門

- ・ 牧野小山遺跡に代表される縄文期考古資料
- ・ 為岡遺跡に代表される弥生期考古資料
- ・ 文化の森が立地している尾崎遺跡考古資料
- ・ 石器石材としての下呂石

○歴史部門

- ・ 「坪内逍遙」「津田左右吉」をはじめとする人物資料
- ・ 織田信長をはじめとする戦国期の古文書
- ・ 林亮三、小栗憲八らの記録したものを含めた現代資料
- ・ 美濃加茂市合併前の旧役場文書

○民俗部門

- ・ 佐野一彦が残した昭和 30 年代を中心とした写真・記録類
- ・ 旧岐阜県蚕業試験場資料を含めた養蚕関係資料
- ・ 蜂屋柿など生業に関する資料

○美術工芸部門

- ・ 「芸術と自然」を主題とする作品
- ・ ゆかりの作家作品の特徴の一つである版画作品
- ・ 1997 年まで開催された彫刻シンポジウムに関連する資料と作品